

耳かけ型 LT

リサウンド・リンクス3D™

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310

一般のお客様電話番号 0120-921-102

FAX番号 0120-636-392

受付:月曜~金曜 午前9時~午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MM/パークビル8F

認証番号 229AABZX00035000
KTG0841 LT 02 1809C-18092K

ReSound GN

はじめに

この度はリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

△警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

○禁止 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

【禁忌・禁止】

1. 次の場合、補聴器を使用しないでください。

- 耳を治療中の場合
- 耳の中に痛みがある場合
- 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合

- 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
- 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合

- 急性または慢性のめまいがある場合
- 耳あか、または異物の集積が明らかな場合

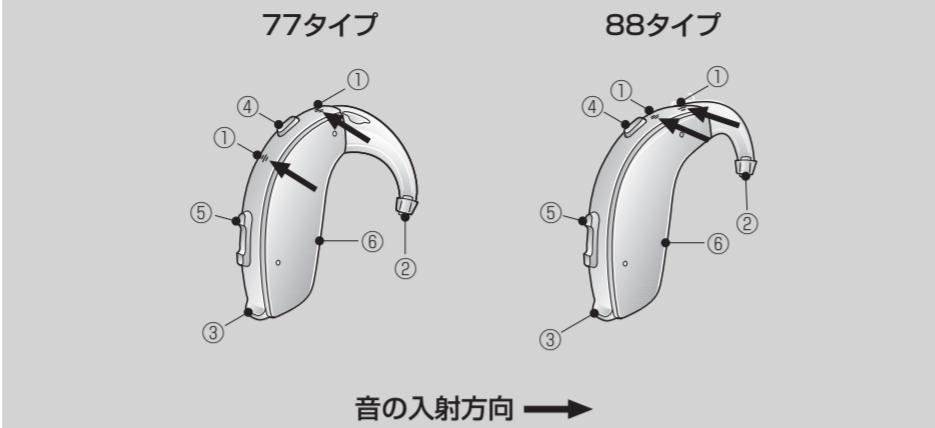
2. 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳漏が生じたとき
- 耳の治療が必要になったとき
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき

目次

1 製品概要

1-1. 各部の名称と役割



① 音の入口

音声を集めるためのマイク

② 音の出口

本体内部で増幅された音声を外耳道に導く

③ 電池ケース

電池を収納する

④ プログラム選択ボタン

プログラムを切り替える(選択する)際に使用

⑤ ボリュームコントロール

音量の調節を行う

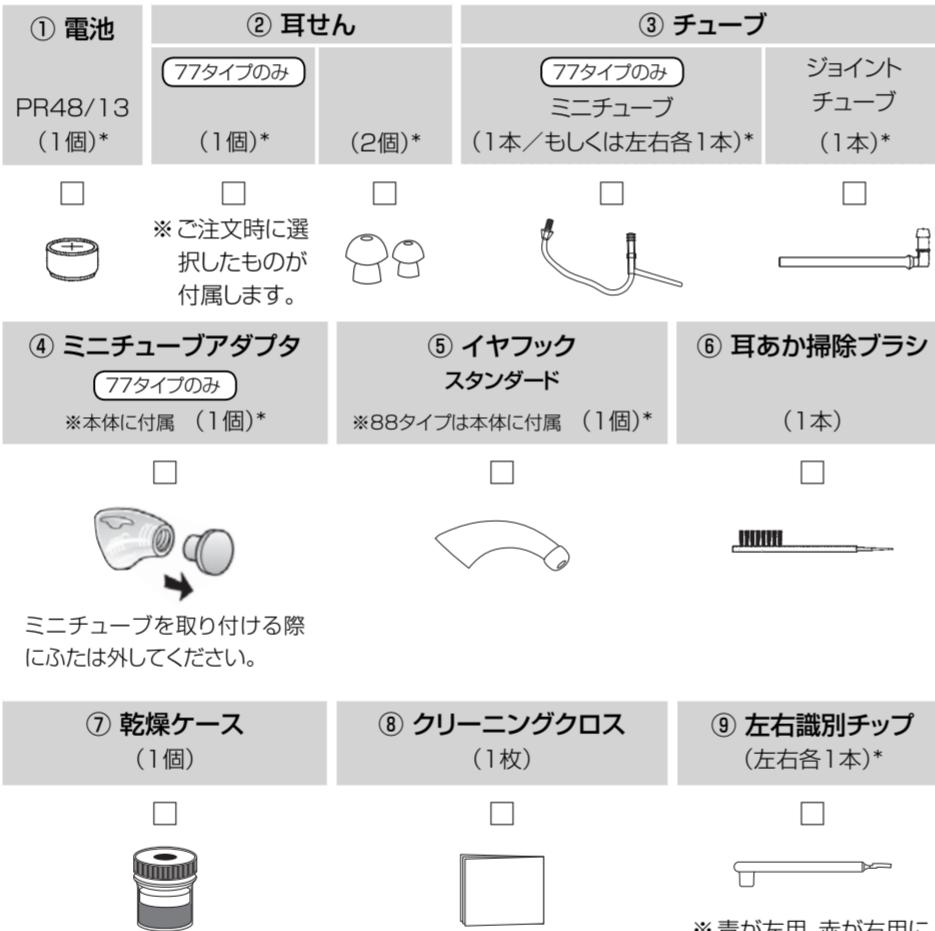
⑥ 外部入力端子

オーディオシューを接続する端子

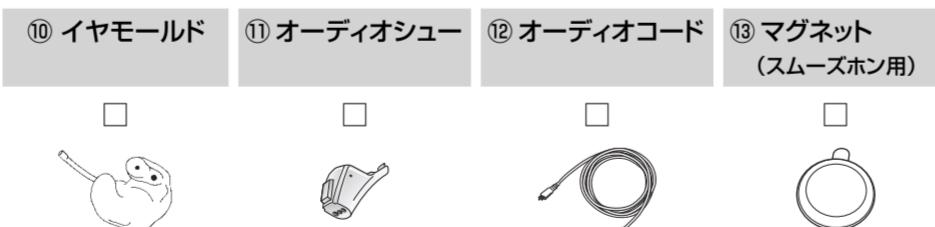
1-2. 付属品一覧（携帯用ケースを除く）

※ □にチェックマークをして、ご使用前にご確認ください。

※ 両耳で購入された場合、*マークのついたものは2個(本)付属します。



○ オプション(別売)



2 基本的な使い方

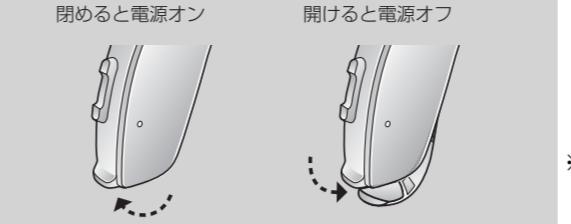
2-1. 電源の入れ方／切り方

電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。

【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

- 治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。
- MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



閉めると電源オン
開けると電源オフ

電源投入時の設定
●「プログラム1」
●初期設定の音量

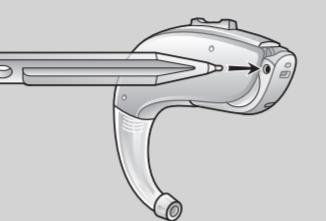
※ 電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

■ チャイルドロック

乳幼児が電池ケースを開けて電池を飲み込んでしまうことを防止する機能です。
設定をすると、電源を切ることはできますが電池を交換することはできません。

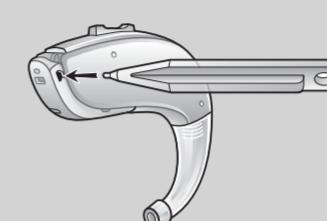
■ 設定方法

電池ケースを2mm程度開けて、イラストのように補聴器の左側から●マークを右に押してください。



■ 解除方法

電池ケースを2mm程度開けて、イラストのように補聴器の右側から■マークを左に押してください。



■ スマートスタート機能

補聴器を耳に装用する際に不快なハウリング(ピーピー音)を防ぐ為の機能です。この機能をオンになると、電源を入れてもすぐには音声が入らず、代わりにお知らせ音(ポン、ポン、ポン….)が鳴ります。

販売店で設定可能 10秒/5秒/オフ

2-2. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなると、電子音(ボボボボボン)が15分おきに繰り返し鳴り、補聴器の電源が自動的に切れます。電子音が鳴りましたら、新しい電池と交換してください。予備の電池を常に携行することをお勧めします。

販売店で設定可能 オン/オフ

■ ワイヤレスアクセサリー(オプション)使用時

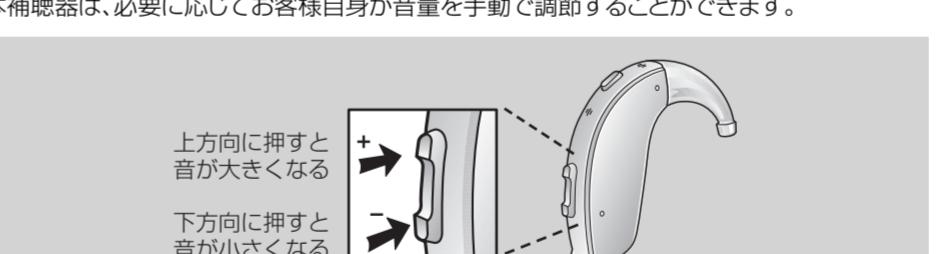
ワイヤレスアクセサリー使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなる前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリーが使えなくなります。新しい電池に交換すると、ワイヤレスアクセサリーは再び使用できます。

電池残量	お知らせ音	補聴器	リモコンユナイトII	TVユナイトII、 携帯ユナイトII、 マルチマイク、 マイクロマイク、 iPhone、iPad、 iPod touch
■ (多)	—	○	○	○
■ (少)	♪♪♪	○	○	×
■ (極少)	♪♪♪♪♪	×	×	×

2-3. 音量調節

■ 音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。



※ ボリュームコントロールを押すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ボー」という音に変わります。

※ 電源を切ると、変更した音量は元に戻ります。

販売店で設定可能 オン/オフ

両耳連動機能使用時 販売店で設定可能 オン/オフ
片耳の補聴器の音量を変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。

2-4. プログラム変更

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。プログラム選択ボタンを押すたびにプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

販売店で設定可能

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ポン	
プログラム2	ポン、ポン	
プログラム3	ポン、ポン、ポン	
プログラム4	ポン、ポン、ポン、ポン	

電源投入時の設定	両耳連動機能使用時 販売店で設定可能 オン/オフ
●「プログラム1」	片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。

電源投入時の設定	両耳連動機能使用時 販売店で設定可能 オン/オフ
●「プログラム1」	片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。

■ フライトモード(ワイヤレス機能使用時)	飛行中に電波を発生させることは禁じられているため、飛行機に搭乗する際や無線送信や電波を発する機器が禁止されている場所ではワイヤレス機能をオフ(フライトモード)にしてください。(初期設定:オフ)
	販売店で設定可能 オン/オフ

■ フライトモードの設定方法	もう一度電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。
	① 電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。

■ フライトモードの解除方法	もう一度電池ケースを開じてください。
	② 電池ケースを開じてください。

■ フライトモードの解除方法	「ポン」というお知らせ音が鳴り終わって

マグネットの取り付け方



受話口周辺を清潔な状態にしてください。

マグネットからホイルを取り外してください。

受話口のすぐ下に貼ってください。必要であればマグネットの位置をずらして調整してください。

警告

- (1) スムーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳しくはお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- (2) スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- (3) 必ずリサウンドのスムーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-8. テレコイル

本補聴器には、テレコイルが内蔵されています。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのヒアリングループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。

また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただけます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

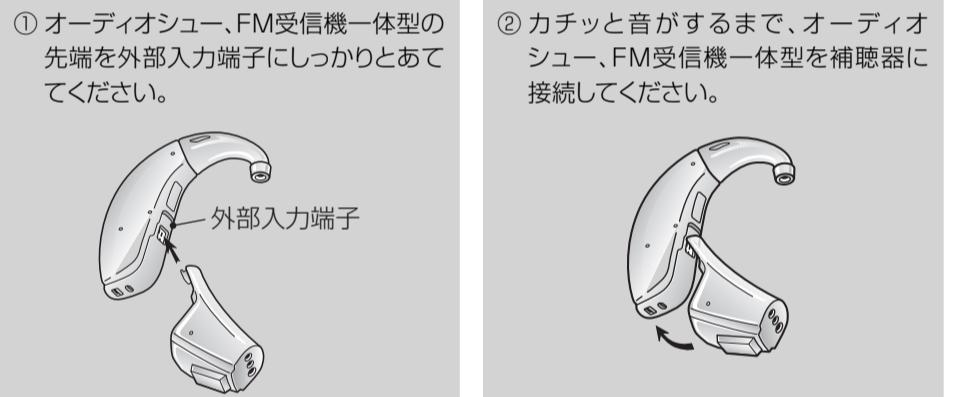
販売店で設定必要 専用プログラム

2-9. 外部入力（オプション）

外部入力により、テレビ、ラジオなどからの音をより良い音質で直接聞くことが可能です。オーディオシュー、FM受信機一体型を補聴器に取り付け、ケーブルもしくはワイヤレスFMシステムで音源に接続すると自動的に外部入力に切り替わります。

販売店で設定必要 専用プログラム

オーディオシュー、FM受信機一体型の取り付け方



オーディオシュー、FM受信機一体型の取り外し方



* 本装置に接続される追加の機器は、それぞれIECまたはISO規格に適合したものをお使用ください。さらに、すべての構成は、医用電気システムの要求事項に適合させてください。医用システムは医用電気システムの要求事項に準拠しており、医用電気機器へ追加の機器を接続する場合、必ず医用システムを構築する責任が生じます。疑わしい場合は、ご使用の前にお近くの販売店にご連絡ください。

△注意

- (1) 1つのFMチャンネルで2つ以上の送信機を使わないでください。
- (2) FM受信機一体型のお手入れに、水や液体を使用しないでください。
- (3) 電波を出すことを禁じられているエリアでは、FM送信機を使わないでください。
- (4) FM電波は、他の受信機に受信される可能性があります。
- (5) 外国でFMシステムを利用する際には、その国でそのチャンネルの使用が許可されているか事前にお買い求めの販売店にご確認ください。
- (6) FM受信機一体型・FM送信機の修理は、認定されたサービスセンターでのみ可能です。

2-10. ワイヤレスアクセサリー

リサウンドのワイヤレスアクセサリーは、高音質のステレオ音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。

下記のワイヤレスアクセサリーがあります。

TVユナイトII：テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。

リモコンユナイトII：補聴器の音量調節や消音、プログラム変更などができる、すべての設定を一目で見ることができます。

携帯ユナイトII：通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなリモコンとしても機能します。

マイクロマイク：話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れて相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。

マルチマイク：マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。

詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。

* リサウンドのワイヤレスアクセサリーはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。

* ベアリング等のより詳しい使い方はワイヤレスアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

2-11. リサウンド・アシスト遠隔サポート

リサウンド・アシスト遠隔サポートを使用することにより、再調整が必要な時であってもお買い求めの販売店を都度訪問せず、専門家による再調整を遠隔操作で受けることができます。インターネットに接続可能なスマートフォンをお持ちであれば、このサービスを受けられます。事前にお買い求めの販売店にて同意手続きが必要です。

1. 補聴器の再調整が必要なときは遠隔サポートのリクエストを行ってください。お買い求めの販売店が遠隔で調整をし、変更したプログラムのデータをお届けします。このプログラムは、あなたの都合に合わせてインストールすることができます。
2. 補聴器のアップデート機能を使うことにより、補聴器の性能を最も保つことができます。補聴器ソフトウェアのアップデートがある場合はあなたの都合に合わせてインストール可能です。

○禁止

- 補聴器を水に濡らさないでください。

補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔などしないでください。

- 補聴器を分解したり、自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。

●補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。

- 補聴器を他人にお貸しにならないでください。

補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わず聞こえにくばかりでなく、耳を痛める場合があります。

- 病院内の検査機器にご注意ください。

MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同じ検査中は補聴器の装用をおやめください。

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変えられるか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービス（0120-921-310）までお問い合わせください。



この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

性能表

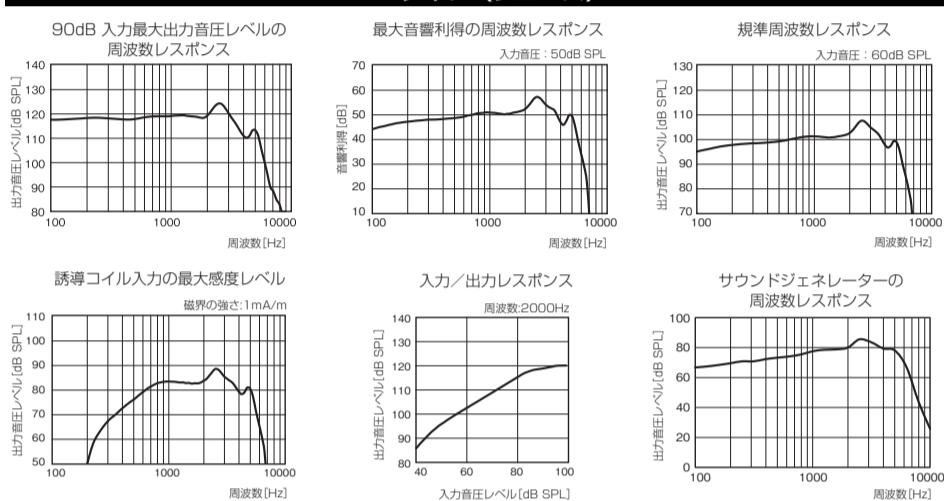
表示単位	77タイプ (クローズ)	88タイプ
電池サイズと 電池寿命(1.4V)	PR41 PR48	時間 240 100-6020
規準周波数レスポンス 周波数範囲	HZ dB	100-6140 43 51
試験用ループに対する等価感度	±4dB SPL	2
誘導コイル入力の 最大感度レベル	HFA-MASL	±6dB SPL
定常状態最大出力特性 (2000Hz)	50dB SPL 90dB SPL	±5dB SPL (70dBで正規化) 96 119
最大感度となる方向	垂直	垂直
500Hz 1000Hz 2000Hz 4000Hz	±5dB SPL ±5dB SPL ±5dB SPL ±5dB SPL	73 78 80 79
ピーカー	±5dB SPL	86
広帯域最大出力音圧レベル	±5dB SPL	91
使用目的、又は効果	身体に装着して、難聴者が音を増幅して聞くことを可能にすること。ただし、気導のものに限る。また、耳鳴りによる不快感の軽減に用いること。	
使用時の環境条件	温度0~40°C、湿度90%RH以下	
電擊保護	内部電源機器 B形装着	
輸送・保管条件	温度-20~60°C、湿度90%RH以下（結露なきこと）、気圧500~1100hpa	

* ワイヤレス機能使用時は電池寿命が短くなります。

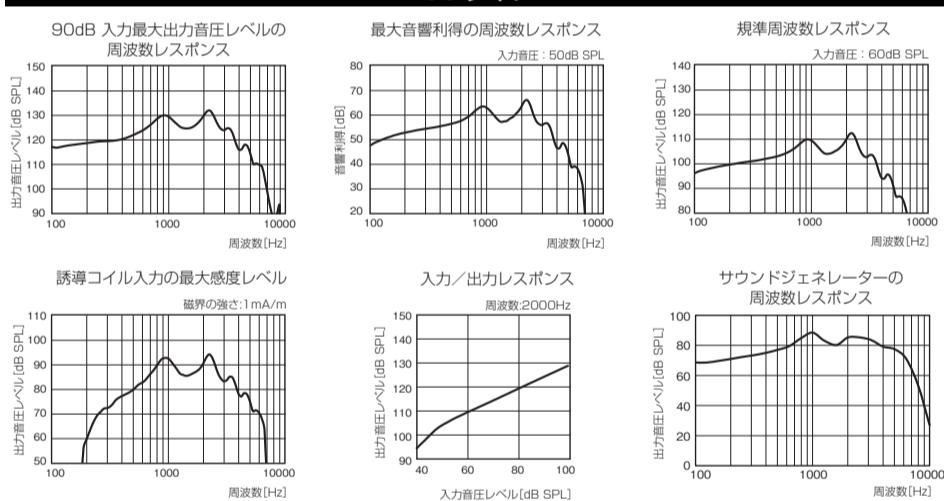
* 数値は参考値です。

7 音響諸特性 2cc カプラ 測定規格：JIS C 5512: 2015

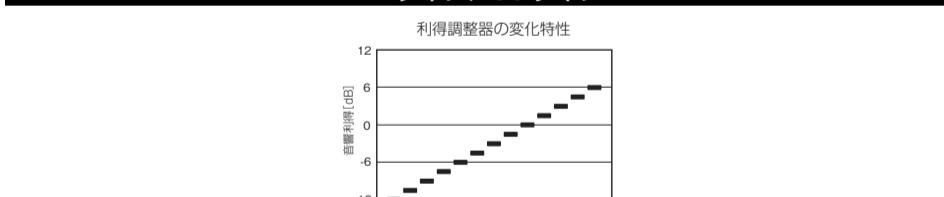
77タイプ (クローズ)



88タイプ



77タイプ、88タイプ



8 アフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。

修理について

・保証期間中

保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

・保証期間後

お買い求めの販売店にご相談ください。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

仕様について

改良のため仕様・付属品は予告なく変更される場合があります。

商標登録について

Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイボルト株式会社のライセンスに基づき使用されています。

「Made for Apple」バッジは、iPhone、iPad、iPod touchに接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているデバイスによって認定された電子アクセサリーであることを示します。Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※ 2018年GNRヒアリングジャパン(株)無断複写転載禁止。Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは、Apple Inc.の登録商標です。iPhone商標は、アイボルト株式会社のライセンスに基づき使用されています。AndroidはGoogle Inc.の登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

6 性能表 2cc カプラ 測定規格：JIS C 5512: 2015

性能表

表示単位	77タイプ (クローズ)	88タイプ
90dB入力最大出力 音圧レベル	HFA-OSPL90 ビーカー +3dB SPL以下	121 124
最大音響利得 ビーカー	HFA-FOG ビーカー +3dB以下	53 57
等価入力雑音レベル	+3dB SPL以下	20 22
全高調波ひずみ 500Hz 800Hz 1600Hz	+3%以下 +3%以下 +3%以下	0.4 0.5 0.8 0.7
電池の電流	+20%mA以下	1.2 1.4

性能表

2cc カプラ 測定規格：JIS C 5512: 2015

耳かけ型補聴器 簡単ガイド

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310
一般のお客様電話番号 0120-921-102
FAX番号 0120-636-392

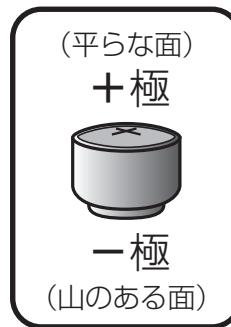
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MM/パークビル8F

KTG0671 02 1807B-180710K

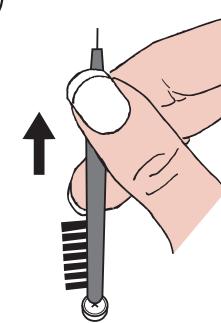
ReSound GN

電池の入れ方・出し方

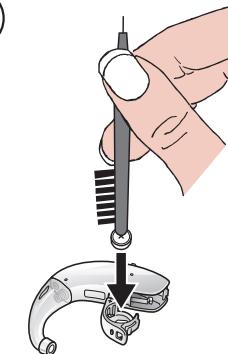
①



②



③



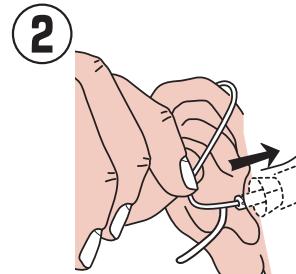
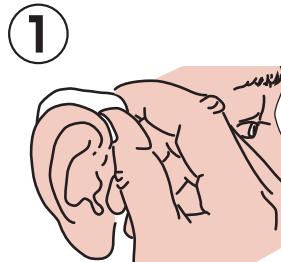
電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてください。

補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

補聴器の着け方・外し方

耳せんの場合



電源を入れ、補聴器を耳の上にかけます。
耳せんを耳の中に、しっかりと入れてください。

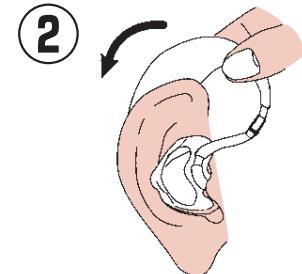


ミニチューブご使用の場合
スポーツロックを耳たぶ上側のくぼんだところに這わせてください。

イヤモールドの場合



イヤモールドを指先で軽く持ち、矢印の方向へ回しながら、ゆっくりと耳の中へ押し込んでいきます。



補聴器を耳の後ろに乗せます。

外し方 親指と人差し指でチューブをつまみ、真横に引き出してください。

外し方 補聴器を着ける時とは反対の方向に回しながら引き出し、補聴器とイヤモールドをつないでいるチューブをつまみ、静かに耳から外してください。

日ごろのお手入れ

①毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。耳せん・イヤモールドの掃除は、耳あかが補聴器本体に入りこまないように音の出口を下にして行ってください。

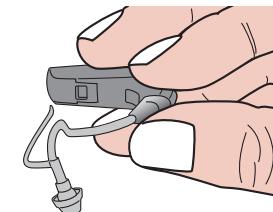


②耳せんの交換

耳せんは3ヶ月に1度程度は交換が必要です。耳せんはお買い上げの販売店で交換されることをお勧めいたします。

③チューブと耳せんまたはイヤモールドの掃除

耳あか掃除ブラシややわらかい布を使って、汚れや耳あかを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

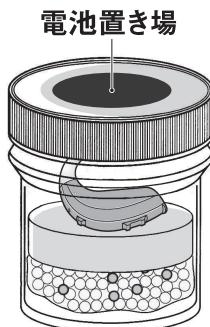


※ チューブ内に水滴が残る危険があるため、洗わないでください。水滴が残ってしまうと音声の伝わりが妨げられたり、補聴器の電子部品に悪影響を与える可能性があります。

※ 絶対にご自分でイヤモールドの形を変えないでください。

補聴器の保管について

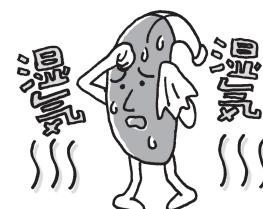
補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。



●熱を避ける



●湿気を避ける



注意・禁止事項

注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 亂暴な扱い方は補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。